

令和4年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	中学3	学校名	茨城県立水戸第一高等学校附属中学校								課程			学校長名	高村祐一	
副校長名	石井伸一		御厩祐司			教頭	久保佳彦			細貝雅之			事務室長名	飯岡孝行		
教職員数	教諭	11	養護教諭	1	常勤講師	1	非常勤講師	0	実習教諭	0	事務職員	0	技術職員等	1	計	19
生徒数	1年			2年			3年			合計		合計クラス数				
	男	女		男	女		男	女	男	女						
	40	40		40	40				80	80	4					

2 目指す学校像

「至誠一貫」「堅忍力行」の校是のもと、未来を切り拓く創造力を育みながら、予測困難な社会の変化に対応できる教育を実践する学校

3 現状分析と課題

項目	現状分析	課題
学校経営	1年生ながら科学の甲子園ジュニア茨城県大会に2チーム出場するなど、各方面で活躍し、地域の期待も大きい。学校としても大枠は1年間をかけて試行錯誤しながら構築されつつあるが、6年間を見据えた上での細部や様々なシステムについてはまだ不十分な面がある。	1 教員間の共通理解を十分に図りながら、様々なシステム等の構築を進めていく。 2 地域の期待に応えられるよう、充実した教育活動を行うとともに、教育活動等の情報発信を積極的に行う。
中高連携	1 特別活動（学校行事、学級活動、委員会活動、生徒会活動）において、初年度ということもあり中高の連携がうまくいかない部分があった。 2 高校籍教員（理科、社会）に専門性を生かした授業を行っていただき、生徒の理解が深まった。 3 総合学習において高校生と交流を行うことで発表内容を深めることができた。 4 授業担当の高校籍教員に生徒の情報（友人関係、生活態度など）が伝わらず、若干指導しづらい面が見られた。	1 6年間のつながりを意識し、特活部、中高連携コーディネーターと連携して各種特別活動運営を推進する。 2 各種授業（学活、道徳等を含む）において他者との関わりや多面的、多角的な見方、考え方を育成するために高校の生徒や教員との交流を図る。 3 生徒情報について高校籍も含めた教員間で情報交換をする機会を増やし、共通理解を図っていく。
働き方改革	1 超過勤務時間が45時間を超え、80時間以下の教職員数 10名（4月）→1名（12月） 平均超過勤務時間数 52:19（4月）→35:22（12月） 年360時間超の教職員数 10名	1 超過勤務時間数は減少しているが、今後も超過勤務者への声かけ等を継続する。（月45h、年360h以内を目指す） 2 会議等の効率化を図る。

4 中期的目標

- 1 中高一貫教育校の特色を生かし、高校での学習内容と関連づけた魅力ある授業を創造することにより、主体的で積極的な学習への姿勢を育むとともに深い学びの実現を図る。
- 2 社会の変化に対応し、茨城から世界に羽ばたく人材、グローバルな視野を持って地域社会の発展に貢献する人材を育成する。
- 3 同窓会のネットワークも活用し、各界の第一線で活躍する講師による講演会を開催するなど、あらゆる機会を通じて生徒の進路意識を高揚させるとともに、視野を広げ、高い志を涵養する。
- 4 目の前の課題に効率的に向き合うために、附属中学校・高等学校を一体化した校務分掌の再編・整備を行う。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
教育課程の工夫改善と学習指導の充実	①新学習指導要領のもと、中高一貫教育校の特色を生かし、高校での学習内容と関連づけた授業を展開できるような教育課程の工夫改善を行う。 ②ICT機器（タブレット及び電子黒板）を活用することで理解度を高め、より教育効果の高い学習指導の充実に努める。 ③夏季課外を円滑に実施し、将来の進路希望実現に資する学力の向上を図る。 ④60分授業の効果を高めるために、さらなる授業の質の向上を目指して、授業に係る研修機会の確保・充実に努める。
キャリア教育の充実	⑤総合的な学習の時間等を利用し、進路意識の高揚と進路希望の実現に向けたキャリア教育を充実させる。 ⑥卒業生の協力を得て様々な職業を知る機会を設け、将来社会に貢献できる人材の育成に取り組む。
健康安全指導の充実	⑦健康安全に留意し、心身ともに健康で、良好な人間関係を築き、生き生きとした学校生活を生徒が送れるよう指導する。 ⑧職員が健康で職務に従事できるよう業務精選に取り組み、法令遵守等についても評価面談で確認する。
特別活動等の充実	⑨特別活動（学校行事、学級活動、委員会活動、生徒会活動）の充実をはかり、創造性を養い、自主自立の精神の確立に努める。また、高校と連携した「体験型部活動」の円滑な実施に努めるとともに、科学の甲子園ジュニア出場など発展的な活動機会の充実を図る。 ⑩学校行事を適切に配置し、時に臨機応変に対応することにより、各行事の円滑な実施と充実に努め、新たな伝統の創造を目指す。
将来を見据えた教育活動の拡充と中高一貫教育校としての円滑な運営	⑪社会の変化に対応し、本校から世界に羽ばたく人材、グローバルな視野を持って地域社会の発展に貢献する人材の育成のため、中高一貫教育校としての組織の拡充に努める。 ⑫ホームページをこまめに更新し、保護者や本校志望の小学生に本校の特色ある教育活動の情報を積極的に発信するとともに、学校説明会等においては生徒の活躍する場を多く設ける。